

# ひらいてつなく木津川市

木津川市  
つうしん



2

木津川市の  
新しい時代  
をひらく会

第2号 2019.4.8 発行

くれはまゆみ  
@y1283h



## くれはまゆみさんに聞いてみました。その2

前回の「ひらいてつなく木津川市通信」では、くれはさんに「なぜ今回再度挑戦しようと思われたかについて答えていただきました。前回の選挙から4年間、紆余曲折の中でくれはさんが市内のあちこちで見聞きして来た地域の問題。いくつもの町が集まって出来たこのまちには多くの問題が隠れているそうです。

「くれはさんは以前よりタウンミーティングの重要性を訴えておられますが、実際タウンミーティングを開催して、地域の皆さんからはどういう反応が返ってきますか？」

どこに行っても皆さんそれぞれの思いを率直に口に出して教えてくださいました。特に切実な声としては先の号にもあげました保育園の問題。そしてバスの問題。これらは本当に急を要する問題です。また木津川市は2007年に3町が合併して出来たとても広い市です。そのためになかなか隔々まで市のサービスが行き届かず、ご不便な思いをされている方がとても多くなっています。どうしても人口の少ない町域では、予定されていた政策さえも白紙に戻ったり、また合併に伴い3町の統一を図ると言う名目の上、独自の政策もほとんど廃止の一途をたどっています。そしてせっかくの豊かな自然を生かした農業なども、人手や後継者不足などで続けていく事が難しい現状だと思っています。

「くれはさんが今の木津川市に必要なと思う政策は？」

まず一つ目は山城、加茂、木津それぞれの地域の異なる問題を木津川市全体の問題として共有する事が重要で、実は隣の町ではどんな問題があるのか知らない方も多く、全体の様子が分かれれば、まずはどこから手をつければ良いのか皆で相談して決めていく事が出来る様になると思います。インターネットなどが普及した現代ですが、それだけでは埋まらないリアルな体験、周囲の声掛けでしか解決できない問題がまだまだあると思います。私たちはせっかくのご縁で、一緒に暮らす仲間です。助け合い励ましあって楽しくワクワクする生活を共に出来たら素敵ではないでしょうか？

### 市が中心となつてするべき政策は？

私がまず取り組んでみるべきだと感じているのが市民の皆さんにきちんと行き届く「予防」の仕組みです。「未病」という言葉があります。介護や地域医療において健康状態の黄色信号の時にいかにきちんと対策をとるか。たとえば高齢の方の介護度などを悪化させない事に重点を置いたケアの方法を考える。それには時に薬ではないリハビリが必要であったりもします。介護点数から見ると単純に手段を決めるのではなくその人らしく暮らせる様に健康寿命を延ばしていく。そういった事は今の保険制度だけでは補っていけない重要な部分だと思っています。たとえ今子どもがたくさんのまちなちも、時間とともに

少年高齢化の道をたどりまします。全国でも珍しく若い世代が増加している木津川市で、今そういった事に取り組んでおくことがこれからの市政にとって欠かせないキーワードであると言えます。大きな政策を掲げる事は簡単です。けれどもまずは足元の市民の健康。そして人と人との交流を促すしくみ作り、そういった事を大切に市政でありたいと私は考えています。そして元気なまち木津川市なら次はどんな事にチャレンジしていけるのか、そんな可能性あふれる市にしたいと思っています。



公開討論会  
おしらせ

4/12 金

アスピアやましろ  
グリーンホール

午後7時～

JC(山城青年会議所)様  
開催の公開討論会  
に参加します。

ねえねえおしえて!

## くれはちゃん!!

さく・え なかむらえみ



くれはさんが、地域の方と  
いっしょに取り組みたいことは?



1 市民の声を聞きます。

市民と対話、タウンミーティング!

山城、加茂、木津、地域のみなさんと一緒に必要な政策と取り組みを考えます。市長室の開放&市民協働を一からつくりあげます。

2 山城、加茂、木津の個性を生かしたわくわく、安心したまちづくり

暮らしの小さな問題を丁寧に解決します。

3 元気でたのしく暮らすための体制づくり

予防医療、介護のしくみづくり  
コミュニティ重視、災害に備えたまちづくり

4 税金の使い方を見直し  
地域で経済を回していく工夫を!

基金を有効に!市民の声により考えた政策に重点を置き生きたお金の使い方をします。  
入札商品の地元最優先化。  
市内の商工農業の活性化を!





